

恵那南高校で新しい校歌が響いた



恵那南高校の校歌が出来上がり、2月26日、同校の体育館で発表会が開催されました。作詞・作曲を担当した後藤健二さんの指揮で、生徒代表の約30人が校歌を披露し、その後、後藤さんの記念講演も行われました。

地域に伝わる伝統芸能を披露



第20回市伝統芸能大会が、2月21日に恵那文化センターで開催されました。地域に伝わる地歌舞伎や文楽などが行われ、最後には、各種団体の代表がお目見えだんまりを披露。観客は、大きな見えに拍手喝采でした。

子育て支援フォーラムで各団体が交流



2月28日に、恵那文化センターで、子育て支援フォーラムが開催。地域での支援活動を推進しようと、初めて開かれました。市内で活動している団体が、活動内容を展示やVTRなどで紹介し、互いに交流を図りました。

がん治療と医療の現状を講演



市観光協会が、恵那峡開峡90周年を記念して、日本外科学会・会頭を務める中尾昭公教授の講演会を2月27日に開催。恵那観光大使も務める同教授の講演は、恵那文化センターで立ち見が出るほどの盛況振りでした。



人とまち  
恵那の今を  
お届けします



大正村を駆け抜けた健脚  
第26回日本大正村クロスカントリーが、3月21日、明智町で開催されました。参加者は、県内外からの1918人。コースは10km(16km)、6km(9.6km)、2km(3.2km)の3コース。大正村の町並みを通り、自然豊かで起伏の激しい山道をランナーは駆け抜けました。  
大会には、80歳以上のランナーが5人参加し、最高年齢は88歳でした。このほか仮装ランナーも多く出場し、沿道の声援を盛り上げました。

**募集中**

5月に1歳の誕生日を迎えるお子さんの写真を募集します。写真(なるべく一人で胸から上で顔全体が写っているもの)の裏に住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、両親の氏名、30字以内のコメントを添えて、4月15日(木)までに申し込みください。またケーブルテレビ放映の可否についてもご記入ください。申し込み多数の場合は先着順により掲載します。

**申し込み・問い合わせ**  
〒509-7292 (住所不要)  
企画課広報聴係  
☎26-2111 (内線319)

<p>お兄ちゃんとう！ 元気に育ってね！ 由生さん・乃武子さん</p> <p>中山 颯太くん</p>	<p>お兄ちゃんとう！ 元気に育ってね！ 武並町</p> <p>渡邊 あやめちゃん</p>	<p>もつと元気で大きくなってね！1歳お誕生日おめでとう！ 将宏さん・ひでみさん</p> <p>西尾 泰輝くん</p>	<p>お兄ちゃんとう！ 元気に育ってね！ 英貴さん・直美さん</p> <p>櫻井 姫菜ちゃん</p>	<p>お兄ちゃんとう！ 元気に育ってね！ 桂吾さん・淳子さん</p> <p>曾我 ことみちゃん</p>	<p>お兄ちゃんとう！ 元気に育ってね！ 辰徳さん・あかねさん</p> <p>鈴木 はなちゃん</p>
<p>お兄ちゃんとう！ 元気に育ってね！ 俊一さん・雅子さん</p> <p>渡辺 時くん</p>	<p>お兄ちゃんとう！ 元気に育ってね！ 伸英さん・幸子さん</p> <p>大島 正太郎くん</p>	<p>お兄ちゃんとう！ 元気に育ってね！ 信太郎さん・奈津子さん</p> <p>坂 翔太くん</p>	<p>お兄ちゃんとう！ 元気に育ってね！ 伸孝さん・幸恵さん</p> <p>石田 紳一郎くん</p>	<p>お兄ちゃんとう！ 元気に育ってね！ 滋嘉さん・萌子さん</p> <p>土屋 志門くん</p>	<p>お兄ちゃんとう！ 元気に育ってね！ 真一さん・めぐみさん</p> <p>田口 昊雅くん</p>

えなの子  
笑顔！  
**HAPPY BIRTHDAY**  
4月生まれのお誕生日  
おめでとう！

1歳になりました



輝く 66  
 山岡町馬場山田  
 後藤健二さん 71歳



## 恵那南高校の校歌を作詞・作曲 佐藤一斎の学びを託す

恵那南高等学校に校歌ができた。コーダを効かせた4拍子のリズムは、力強さを感じさせる。歌詞の一部には、英語が使われている。同校は、岩村高校と明智商業高校が、3年前に統合してできた学校。これまで校歌は無く、それぞれの校歌を愛唱歌として歌ってきた。作詞・作曲した後藤さんは、岩村高校と明智商業高校に勤務したときに、ギター・マンドリン部や、ブラスバンド部を創設。それが縁で、昨年9月に、校歌の作成を依頼された。「校歌というものは、永久に残るもの。私が作っていいのだろうか」約一カ月間悩んだ。それでも引き受けたのは、「校歌が無く寂しい」という、生徒や地域の人の声を耳にしたからだ。校歌は、「生徒はもちろん、地域の人たちの歌でもある」と感じたといい。「地元にいる私が作るからには、学校の歴史、人の心を表現しよう」と決めた。

校歌には主に、3つの思いが込められている。1つ目は、学校生活を謳歌している生徒の姿。2つ目は、恵那の地域が醸し出す雰囲気や、豊かな自然。3つ目は、佐藤一斎の学びの心。三学戒の言葉を歌詞に入れるが、なかなかうまく伝わらない。「どんな表現がいいのかずいぶん悩んだ」。あるとき知人から言志四録の英訳本を紹介され、その中に、校歌にもなった一文があった。「Nothing is as worthless」訳は、人生に無駄なものはない。これは、「いつの時期においても、学ぶことに無駄はない」という、三学戒の教えをうまく言い当てた言葉。輝いて見えた。2月26日の校歌発表会。一生懸命に歌う生徒たちの姿があった。「真剣に歌う生徒は、素直で明るい子どもたち。何でもいい、集中する姿勢を持ち続けて」と後藤さんは話す。新たな歴史を刻む恵那南高校。この校歌には、未来に羽ばたく生徒への夢が託されている。

佐藤一斎 = 岩村藩出身の儒学者。西郷隆盛にも大きな影響を与えた著書「言志四録」は、一斎が後半生に書いた語録。三学戒の「少(わか)くして学べば社にして為(な)す有り、社にして学べば老いて衰えず、老いて学べば死して朽ちず」は、その中の一節

### 明智小4年生鈴木君の作品が広重賞に



3月7日、中山道広重美術館で広重賞第6回市こども版画コンクールの表彰式が開催。今回は、過去最多となる3,043点の応募総数から、鈴木康広くん(明智小4年)の「前回りをしているぼく」が広重賞に選ばれました。

### 中山太鼓の練習から学ぶ地域の伝統



串原中学校では、3月9日、卒業式の後に中山太鼓の免許状授与式が行われました。ことしの卒業生5人は、3年間の練習を通して、伝統の素晴らしさと、伝統を引き継ぐ大変さを、学び気づけたと話していました。

### 木のぬくもりある体育館が完成



大井小学校の屋内運動場が完成し、3月16日に竣工式が行われました。柱などには県産のスギ、壁には市内産のヒノキを使用。全校児童336人による校歌が、新しく完成した木のにおいのする屋内運動場に響きました。

### ひな祭りに上矢作保育園でからすみ作り



上矢作保育園の園児43人が、3月3日からすみ作り挑戦。作り方や、ひな祭りに飾ることなどを聞き、それぞれ好きな形に作成。手製のひな様が飾られている教室で、個性豊かなからすみをおいしく食べました。

### 手話通訳連絡協議会が防災まちづくり大賞



市手話通訳連絡会などが3月8日に、第14回防災まちづくり大賞の受賞報告に訪れました。市民提案型協働事業として、聴覚障がい者用防災イラストマップの作成が評価され、消防庁長官賞の受賞となりました。

### 本年度の最終は豆腐とおしょうみそ



市内農家のグループが講師となり、地域の伝統料理を伝えている恵那の味伝承講座が、3月10日、アグリパーク恵那で開催されました。最終回となる今回は、豆腐作りとおしょうみそで、楽しみながら料理を学びました。